



未来を築く、 現地力。

橋梁・沿岸構造物の計画、新設から補修・補強まで、
半世紀にわたって培った技術力で社会インフラの未来を築きます。



アルソシア鉄構株式会社

半世紀の実績と技術で、 強靱なインフラを、 次の世代へ。

アルソシア鉄構は、1974年の創業以来、
橋梁・沿岸構造物の新設から補修・補強まで、日本の社会インフラを支え続けてきました。
耐震設計・防災減災・長寿命化への要請が全国規模で急増するなかで、
長期的な運用・保全まで見据えた設計・建設を推進することが、私たちの使命です。

「アルソシア」とは？

ラテン語の“アルス”（技術）と“ソシア”（社会・仲間・共生）を融合させた造語。
多様な技術力を軸に、変化し続ける社会とともに歩んでいく理念を象徴しています。

経営理念

顧客満足の追求

高い技術力と豊かな創造力の向上に努め、顧客そして
社会のニーズと信頼に応えて、高品質な建設作品と
サービスを提供します。

株主価値の増大

徹底した効率経営と安定した収益力により、事業の継続
的發展を実現し、企業価値＝株主価値の増大に努めます。

社員活力の尊重

社員の個性と能力が遺憾なく発揮でき、働き甲斐のある、
開かれた闊達な会社を創ります。

社会性の重視

公正な企業活動を行い、社会から信頼される健全な
企業市民を目指します。

地球環境への貢献

人と地球に優しい建設企業の在り方を常に求め、生活
環境と自然の調和を大切に考えます。

4つの力が生み出す アルソシア鉄構の現地力

橋梁や沿岸構造物のプロジェクトに、ひとつとして同じものはありません。
それぞれの予算、地形、構造を踏まえた緻密な設計と臨機応変な対応が求められます。
そんな一期一会の「現地力」こそ、私たちの強みです。

初めての地で高品質と納期を実現するために必要なのは、
状況の変化やリスクを先読みし、最適解を導く「現地力」。
高い技術力、組織力、豊富な経験、課題解決力、
これらを踏まえた知恵が一体となり、私たちのパフォーマンスを支えています。



OJT（実践）とフォローアップ研修（学び）を組み合わせ、
技術力と柔軟な対応力を育成。難関資格取得を表彰する
制度もあり、毎年多くの者が受賞しています。

TECHNOLOGY & PEOPLE

高い技術力
人材育成力

01



社内では年齢、性別、職位を超えた自由闊達なコミュニ
ケーションが浸透。JV や発注元とも積極的に信頼関係を
築くチームプレー志向が最適解を導く力となっています。

TEAM COLLABORATION

組織・チームの
連携力

02

現地力

NATIONWIDE EXPERIENCE

全国で培った
経験・実績

03

全国の橋梁、沿岸で難工事に取り組んできた経験がもた
らすのは、あらゆる事態を想定できる未来予測力。起こ
りがちな問題を予め洗い出して対応することができます。



SPECIALIZED EXPERTISE

特殊・高難度の
課題解決力

04

鉄道や高速道路を供用しながらの工事、前例のない工法
など厳しい条件下での実績も多数。新たな挑戦にも意欲
的に臨む気風で高難度の課題を解決してきました。



工期・コストの問題を解決し、 品質を向上する独自技術

橋梁・沿岸構造物における高度な技術力と豊富な経験を活かし、工事の省力化や安全性の追求、防災・減災、再生可能エネルギー利用など、時代のニーズに応えるための技術開発に取り組んでいます。

橋梁関連技術

Bridge related technology

鋼コンクリート合成床版 MESLAB（エムイスラブ）



高剛性、高耐久性で床版支間6m 超の長支間にも対応可能

鋼材とコンクリートを成型形鋼によるずれ止めで合成した橋梁用合成床版。剛性、耐久性に優れ、合理化橋梁との組み合わせで工費削減、省力化が実現できます。

セーフティパイプベント



組立・解体を大幅に省力化する、安全なパネル型ベント

パネル化による部材数の低減により、組立・解体作業を大幅に省力化。階段式足場設備を備えているため、作業性・安全性も向上します。

ロッキング橋脚撤去・更新工法



ロッキング橋脚を有する橋梁を合理的に耐震化する技術

新設橋脚を先行構築し、完成した新設橋脚で上部構造を仮受けした状態でロッキング橋脚を撤去。大型重機を使用することなく新設、撤去が可能です。

立体交差短期施工法 短期立体交差システム



工期短縮、交通規制を最小限に抑え、都市部の工事渋滞を緩和

中央径間の一括架設により、交差道路は夜間、数分程度の通行止めで施工可能。基礎構造物も小規模化し、工期短縮および地下構造物への影響を低減します。

沿岸関連技術

Coastal related technology

防災・減災対策 津波対応浮桟橋



津波襲来時の減災技術を実装した浮桟橋

浮体流失防止のため津波高を考慮した係留杭、浮体内部に二重壁を設けるなど、被害を最小限に抑え素早い復旧を可能にしました。

脱炭素への取り組み 沿岸型波力発電



波の上下動を利用した発電装置で脱炭素を目指す

沿岸域において、海上に設置した杭をガイドとし、発電機や機器を格納したフロートの上下運動を発電エネルギーへ変換するシステムです。



社会のインフラを支える 3つの事業

アルソシア鉄構は、橋梁事業・橋梁保全事業・沿岸事業の3本柱で、豊富な実績を積んできました。
いずれの事業においても、計画・設計から工場製作、現場施工、メンテナンスまで、
一貫したエンジニアリングを提供しています。

橋梁事業においては、新設橋梁の設計から工場製作、現場施工までを手がけ、
耐震補強や長寿命化、拡幅・補修・取替でもご信頼をいただいています。
沿岸事業では各種沿岸構造物の設計・製作・据付などの新設工事と、補修・補強に対応。
実績については次ページの施工例もご覧ください。

01 橋梁事業 Bridge Business

[→ P6](#)

橋梁や鋼構造物の計画・設計・製作・架設をトータルで実施。
耐震設計や防災・減災など公共インフラ強化のニーズに、
最新技術で応えます。

02 橋梁保全事業 Bridge Maintenance

[→ P7](#)

老朽化したインフラの耐震補強や長寿命化構造対策に対応。
古い橋梁の撤去・落橋防止・床版取替・拡幅など高難
度案件を多数請け負っています。

03 沿岸事業 Coastal Business

[→ P7](#)

各種浮体とハイブリッドケーソン、ジャケット、可動橋など
「みなと」の多種多様な鋼構造製品を取り扱い、計画・設計・
製作・設置から保全まで取り組んでいます。

01 橋梁事業 *Bridge Business*

災害等に強い強靱さの実現はもちろんのこと、景観への配慮や特殊環境での施工など、プロジェクトごとに異なる条件やご要望に、現実的な計画と臨機応変な対応で応えています。



関戸橋（東京都）

桁橋 / クローラークレーンベント工法

全 16 年の優先路線整備計画のうち 10 ～ 11 年目の橋梁新設工事を担当。実施設計と工場製作の後、第一渇水期に多摩川の瀬替えを実施し、河川内に施工ヤードを造成。750t 級を含むクローラークレーンを設置し、橋梁（合成床版含む）の架設工事を行いました。



新大田橋（群馬県）

トラス橋 / ケーブル工法

上信自動車道吾妻西バイパス（高規格道路）が久々戸川を跨ぐ橋長 90m の単純上路式トラス橋。上弦材と下弦材の高さが 5m から 13m に変化する特徴的な構造を有し、橋梁の架設には高い技術力が必要なケーブルエレクション直吊り工法を採用しました。



逢隈橋（福島県）

アーチ橋 / ケーブル工法

老朽化による架替工事。橋台背面の盛土部への鉄塔設置位置が計画されていましたが、所要地耐力が確保不可能との予想から、堅固な地山に鉄塔基礎を設置できるよう鉄塔支間を変更。箱断面形式の新型鉄塔設備で、ケーブルクレーンにより架設しました。



物部川橋（高知県）

ラーメン橋 / トラッククレーンベント工法

一般国道 5 号南国安芸道路の物部川横断部にて、鋼 4 径間連続ラーメン合成少数鉸桁の製作と架設を行いました。ラーメン橋中間支点部剛結ブロックの製作・架設においては CIM（3 次元計測技術や VR 技術）を活用。既設下部工の鉄筋との干渉を事前に確認しました。



なぎさブリッジ（青森県）

鋼コンクリート複合橋梁 / クローラークレーン工法

諸施設との調和・シンボル性・景観などに配慮した、世界初の斜材付き複合吊橋（斜張橋と吊橋を組合わせた構造形式）。主径間の中央部 42m を鋼桁、その他をプレキャスト PC 桁とした混合構造であり、接合部構造は「前後面プレート方式」を採用しています。



岩城橋（愛媛県）

斜張橋 / 吊り上げ張出工法

当社の主な役割は鋼桁製作・架設工事。海上作業のため EN（エレクションノーズ）による吊り上げ張出架設工法を採用。鋼桁外面は金属溶射を施し、添接部も溶射ボルトを使用。鋼床版の添接部は溶接構造で、舗装が施工される箇所以外は現場で金属溶射を行いました。



レインボーブリッジ（東京都）

吊橋 / 逐次剛結張り出し工法

首都高速 11 号線、都道（車道部・歩道部）、新交通システム「ゆりかもめ」が供用する複合的な橋梁の、芝浦側補剛桁部分を担当。架設クレーンを用いた逐次剛結無ヒンジ張り出し工法により施工しました。なお橋梁基礎の鋼殻ケーソンも当社で製作しています。



町田橋 MD ブリッジ（東京都）

複合橋 / クローラークレーン一括 + 横取工法

三井造船（現・三井 E&S）、ドーピー建設工業、当社共同開発の「MD ブリッジ」1 号機です。低桁高構造のため、桁下制限の厳しい都市部中小河川や立体交差の架け替え、建設に有効。上フランジが床版を兼ねるため、短工期、低コストを実現することができました。



杭全横断歩道橋（大阪府）

トラッククレーンベント工法

歩道橋へのエレベーター設置に伴い、車いすや自転車すれ違いが可能な通路幅の確保のために行った更新工事。他に横断歩道や地下道等がないため歩行者の通行の確保が必要、車両通行止めは夜間の 5 分間 / 回のみという厳しい条件のもとで施工を完了しました。

02 橋梁保全事業 *Bridge Maintenance*

工期短縮や作業の省力化、交通規制の短縮化等が課題となりやすい保全事業。
難しい条件にも最大限に配慮しつつ、改善効果の高いリニューアルを実現しています。



追分橋（滋賀県）

桁橋 / 耐震補強（橋脚構造の変更）

ロッキング橋脚を撤去、鋼コンクリート複合橋脚に更新した橋梁免震化工事。名神高速道路を供用しつつ、路下交差の鉄道、国道の供用に支障を来さないため、省スペースかつ安全な新工法（西日本高速道路株式会社と共同で特許を取得）を立案、施工しました。



川島大橋（岐阜県）

トラス橋 / 橋梁上部の撤去（被災損傷の橋梁）

豪雨で被災した橋梁架け替えのうち橋梁上部工撤去を担当。中間橋脚の一つが傾斜して倒壊の危険性がある中、早期復旧のために出水期も継続して作業を実施。作業用仮栈橋、1,250t クローラクレーン、トラベラクレーンを用いて撤去を完了しました。



並柳橋（大分県）

桁橋 / トラス橋 / 耐震補強（震災復旧）

平成 28 年熊本地震において被災した橋梁の震災復旧工事です。L2 地震動対応のため免震化し、それに伴って応力超過部材の取替、補強と、一部損傷した鋼桁の取替を実施しました。架設にあたっては栈橋を構築し、山岳地帯の工事用道路を確保しました。

03 沿岸事業 *Coastal Business*

漁港・漁場機能、国際物流競争力の維持、国土強靱化などの目的に応じた構成を的確に実現。
製品・工法への豊富な知識と経験をもとに、大規模なプロジェクトにも着実に対応します。



佐賀関漁港浮栈橋（大分県）

PC ハイブリッド構造

鋼とプレストレストコンクリートの複合構造を導入することにより、耐食性能が高く、単体で長尺の浮栈橋を実現しました。前面には生け簀を設置し、漁業者が荷捌きまでの時間、魚を海中で活かしておくことができるようになっています。



横浜港 [新本牧地区] 護岸（神奈川県）

ハイブリッドケーソン（スリット付き）

国際海上コンテナターミナル再編整備の一環として、新本牧地区の護岸整備のためのハイブリッドケーソンを製作。鋼殻 4 函を西日本の工場で製作して台船で輸送し、発注者指定ヤード（千葉県袖ケ浦市）でコンクリート工事まで施工しました。



新門司第四可動橋（福岡県）

大型フェリー用可動橋（耐震）

耐震構造を備えた可動橋。大規模地震発生時でも人や物資などの海上輸送機能を維持し、物流を滞らせない設計となっています。緊急時には複数タイプのフェリーが利用できるように、先端フラップにロータリーアクチュエーターを装備しています。

Webサイトでは、橋梁形式別・橋梁架設工法別（橋梁事業）、橋梁保全形式別（橋梁保全事業）、各種沿岸製品（沿岸事業）にも施工例の詳細を掲載しているほか、これら事業で培ったノウハウを活かした風力発電据付、鋼製煙突建方、飛球対策施設建方など周辺分野の EPC 工事についてもご紹介しています。

詳しくは Web サイトをご覧ください

<https://as-se.co.jp/construction/>



Company Profile

会社概要

商号	アルソシア鉄構株式会社
(英文名)	ARSOCIA Steel Structures Engineering CO., LTD. https://as-se.co.jp/
所在地	〒261-7129 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目 6 番地 1 WBG マリブイースト棟 29 階
設立	1974 年 2 月 20 日
資本金	400,000,000 円
株主	アルソシア建設株式会社：100%
従業員数	322 名（2026 年 10 月 1 日現在）
建設業許可番号	国土交通大臣許可（特 -4）第 9250 号
許可業種	●土木工事業 ●とび・土工工事業 ●舗装工事業 ●塗装工事業 ●鋼構造物工事業 ●しゅんせつ工事業
認証	ISO9001：2015、JIS Q 9001：2015 / ISO14001：2015、JIS Q 14001：2015 (橋梁、ケーソン等の各種鋼構造物及び土木構造物の設計、製作、工事、補修)
加盟団体	一般社団法人 日本橋梁建設協会
取引銀行	百十四銀行 東京支店 / 三井住友銀行 錦糸町支店

営業種目

1. 橋梁、タンク等各種鋼構造物およびコンクリート構造物の設計、製作、据付、解体工事ならびに補修および補強工事
2. 浮栈橋、浮防波堤、各種浮体構造物、ケーソンその他海洋構造物の設計、製作、組立、据付工事ならびに補修工事
3. クレーン、重量物運搬車輛その他運搬・荷役用機械の設計、製作、組立工事および据付工事
4. 土木、建築、上下水道、工業用水道にかかわる設計、工事および工事監理
5. 前各号にかかる構造物の調査・点検・診断、設計、解体、補修・改造工事の工事、工事監理および保守管理

沿革

1974 年 2 月	播磨工業株式会社から工部門を分離独立し、技術員、機材一式および過去の技術と業績を引き継ぎ 播磨工事株式会社を設立
1978 年 3 月	社名を三造鉄構工事株式会社に変更
1978 年 9 月	社名を三井造船鉄構工事株式会社に変更
1987 年 7 月	本店移転（大阪市→東京都）
2000 年 1 月	三造沿岸開発株式会社と合併
2000 年 10 月	ISO9001 認証取得
2002 年 1 月	三造リフレ株式会社、株式会社運搬機エンジニアリングと合併
2011 年 12 月	本店移転（東京都→千葉市）
2012 年 7 月	社名を三井造船鉄構エンジニアリング株式会社に変更。三井造船（株）の国内鋼製橋梁事業、沿岸製品事業を吸収分割により承継
2018 年 4 月	社名を株式会社三井 E&S 鉄構エンジニアリングに変更
2020 年 10 月	三井住友建設株式会社の連結子会社となり、社名を三井住友建設鉄構エンジニアリング株式会社に変更
2022 年 3 月	ISO14001 認証取得
2024 年 2 月	創立 50 周年
2025 年 12 月	親会社の三井住友建設株式会社がインフロニアホールディングスの完全子会社となり、当社も同ホールディングスの傘下となる
2026 年 10 月	社名をアルソシア鉄構株式会社に変更